

富山市教育委員会会議録

令和4年2月臨時会

1 日 時 令和4年2月24日（木曜日）

15時00分 開会

15時15分 閉会

2 場 所 本庁8階大会議室

3 出席委員 教育長 宮口克志
委員 若林啓介
委員 藤井久丈
委員 尾畑納子
委員 高田健

4 説明のために出席した者

事務局長	金山靖
事務局理事（学校再編担当）	舟崎文彦
事務局次長（総務・社会担当）	山本貴俊
事務局次長（学校教育担当）	大久保秀俊
教育総務課長	石黒健一
学校再編推進課長	関谷雄一
学校施設課長	井上剛秀
学校教育課長	竹脇孝志
生涯学習課長	高橋祐子
教育センター所長	川端紀代美

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課長	余川毅
教育総務主査	宮森知佳

6 傍聴人数 1人

7 付議案件

(1) 議 案

議案第 8 号 富山市立小・中学校再編計画（案）について

8 会議の要旨

[教育長] 開会を宣言する。
本日は、全員委員の出席があるため、会議は成立している。

【議案第 8 号】

[教育長] 議案第 8 号について事務局から説明を求める。

[学校再編推進課長] (議案第 8 号について説明)

[教育長] 先ほどの総合教育会議の中でも話をしたが、教育委員会としては、教育の質の向上、そしてどういったビジョンに基づいて今後教育を進めていくかということが、欠かすことのできない大事な視点だと思っている。

先ほどの総合教育会議において、資料 2-2・A 3 版の資料があった。この内容を再編計画の中に盛り込んだ形として、最終的な再編計画を作成するという方向でどうかと、今ほどの説明の中であったかと思う。そのことを含めて、皆様方から意見を賜りたいと思う。

[若林委員] 繰り返しになるが、まず先ほどの総合教育会議で議題になっていた学校再編計画、通学区域審議会での答申だが、これについては概ね妥当であろうと思う。資料 2-2 中の「コミュニティ・スクール等地域に根差した学校づくり」は、特に今回の再編に関して言うならば、地域のご理解を頂くという点からも非常に重要なところになるのではないかと思う。それから、「学校の適正規模の確保と悩みを抱える子どもの居場所を用意する多様な学びの場の提供」というところでまとめてあるが、この機会に、現在教育の現場で問題となっている子どもたちへの対応というもの、特に不登校の生徒へどう対応していくのかということ。また、それが原因、或いは他の原因等でも現在の教育課

程に十分ついていけないような子どもたちへどう対応していくのかということを考えていく必要がある。やはり教育というものは、将来への投資という考え方もある。そのため、社会の中で居場所を見つけられる人たちを、出来るだけ多く作っていくということが非常に重要なことであると思う。もっと言えば、しっかりと納税者になって頂けるような人を作っていくということも大事なことである。是非この機会に併せて、資料2-2で提示されているような、今後の富山市の教育施策の深化・発展というところも実現して頂きたい。

[教育長]

その他、質問・意見等ないか。

[藤井委員]

先ほどの総合教育会議でも説明があったが、学校再編という意味では非常に考えられた計画であると思う。むしろこれからの教育に対するビジョンをどのように進めるかということが大切で、資料2-2の内容をもう少しボリュームを付けて入れて頂いてもいいのではないかなと思う。というのは、中には実際に既にビジョンを基に取り組みられているものは書いてはいるが、それを学校再編と同時に進めていかなければならないということをもう少し大きく取り上げて、打ち出した方がいいのではないかなと思う。

それからもう一つは、不登校の子どもたちの対応や、教育の場所作りということも、もう一步踏み込んで、将来的にどんな形で実現していくかということもあっても良いのではないかなと思う。

また、Society5.0ということで、もう実際に子どもたちが一人一台タブレットを持っている。そしてまた、様々な環境の中でそのタブレットを使用している。しかし、タブレットの使用だけではできない「人との繋がり」を学ぶことのできる体制作りというものも、考えなければならぬ。このようなことから、何度も繰り返すが、やはり今までの教育施策を深化・発展させていくこのビジョンを、しっかりとこの計画に盛り込んでもらいたいと思う。

[尾畑委員]

先ほどの総合教育会議で話した通りだが、いよいよ計画を進めるにあたって、令和4年度から順次話をしていく中で、この「ビジョン」というのは大変重要だと思う。これから、変わっていくということ、変わらなければならないということを丁寧に説明し、そして質の高い教育を提供していくということが大事だと思う。

それにあたって、細かいことだが地域に入って個別に話をする際に、それぞれの地域が富山市の中でどのような位置づけにあるのかという客観的なデータを示しながら進めて頂きたいと思う。具体的に言う

と、例えば「富山市の教育」という資料がある。その中には、富山市内の各学校の客観的なデータがある。そのようなものを示しながら、それぞれの地域で、いかにその地域を活性化し、そこに根差した教育をしていくのか、理解して頂く資料作りが重要だと思う。是非お願いしたい。

[教育長] 地域の個別の説明のみならず、市内 65 校の小学校、26 校の中学校の中で、その地域の学校はどのくらいの位置なのか、「全体像を示しながらそれぞれの実態を理解して頂く」そういう資料も説明の際に必要ではないかということによいか。

[尾畑委員] 客観的な捉え方ができる資料提供の仕方を是非工夫して頂きたい。

[教育長] 教育委員会としてのビジョンをしっかりと示し、富山市全体の教育の在り方というものを考えていく必要があるのではないかという意見が多かったかと思う。

それでは、採決を行う。議案第 8 号について、異議があるか。

[各委員] 異議なし。

[教育長] 皆様からの要望等もあったので、それらも踏まえながら今後の再編を進めていきたいと思う。

異議なしと認める。よって議案第 8 号は原案の通り可決した。

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問等あるか。

[各委員] 質問なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。